




# 品目別生産コスト縮減取組チェックシート(畑作)

畑作における生産コストの低減に向けた取組事例を一覧にしたものです。  
 今後、皆さんの経営(又は地域)において導入可能な取組がないか一つずつチェックしてみましょう。

記入者氏名 \_\_\_\_\_

記入年月日 \_\_\_\_\_

麦		てん菜		ばれいしょ		共通					
コスト縮減の取組	チェック	コスト縮減の取組	チェック	コスト縮減の取組	チェック	コスト縮減の取組	チェック	コスト縮減の取組	チェック	コスト縮減の取組	チェック
人工衛星画像の利用		直播栽培		ソイルコンディショニング栽培		経営 改善	経営診断に基づく経営改善	農薬費	病害虫の発生状況に応じた防除の実施	農機具費	集落営農組織等における余剰機械の整理等による農業機械の効率利用
ハイバイン・ピックアップの利用		省力化技術 共同利用による多畦収穫機の利用	省力化技術 ソイルコンディショニング栽培  ベッドフォーム  セパレータ	省力化技術 オフセットハーベスタ	労働時間の記帳管理と雇用や作業委託の導入によるピーク時の緩和						
 収穫風景						早期培土		土地利集積による経営規模の拡大	低価格農機(HELP農機)の選択を検討	光熱動力費 機械の省エネ運転	
チゼルプラウ耕による春播き小麦の初冬播き栽培					複数業者の価格を比較した上での資材購入	資材共通	中古農機の利用	賃借料・料金 共同利用施設の稼働率の確保			
カッティングドレーン工法による排水対策					輸入高度化成肥料やBB肥料等の低価格肥料の選択	肥料費	経営内容に応じた機械の装備等の選択	諸材料費 フレコン等による出荷			
病害虫抵抗性等を有し、多収な品種の導入					高度化成に比べて低価格な単肥の自家配合		農機具費		修理整備技術の確かな販売店の選択		
					バラ・フレコンによる肥料の購入	農薬費	機械の自主整備	特別償却や税制控除が受けられる優遇税制の利用			
					港湾や工場からのトラック満車直行等の低価格な配送条件の有無の確認		所有する農業機械を生かした作業受託の実施				
					追肥を省略できる肥効調節型肥料の利用		共同購入・共同利用による効率的な農業機械の導入	定期的な保守点検による長期利用			
					土壤分析に基づく適正施肥		大型農業機械の利用技能の修得				
					大型包装農薬の選択						
					低価格農薬の組合せ等による防除						

品目別生産コスト縮減の基本的考え方(畑作)

作物間の作業競合を解消する技術の導入  
 てん菜の移植とその他作物の播種の競合、ばれいしょの収穫と秋まき小麦の播種の競合を解消するため、てん菜の直播、ばれいしょのソイルコンディショニング技術により、省力化と作業競合を回避  
 麦・大豆の収量向上・安定化  
 病害虫抵抗性を有する多収の小麦品種、耐冷性を有する多収の大豆品種の導入による単収の向上、安定化  
 適期収穫の徹底による小麦の乾燥調整経費の低減  
 人工衛星画像の活用等による小麦の適期収穫を徹底し、収量の向上を図るとともに、乾燥に要する燃料費を低減  
 肥料や農薬の効率的な使用による肥料費・農薬費の低減  
 土壌分析に基づく施肥や発生予測に基づく農薬使用などで無駄の省略、低価格肥料・農薬の利用、減農薬の導入、大口割引や単肥配合等による肥料・農薬費の低減

麦	
コスト縮減の取組	内容
人工衛星画像の利用	生育状況の早晚や水分含量に応じた計画的な収穫を実施することにより、乾燥経費を削減することが可能 [ 適期収穫による、品質・収量の向上・安定とともに計画的作業の実現による労働時間の削減も可能です。 ]
省力化技術 ハイバイン・ピックアップの利用	ハイバイン(牧草刈り倒し機)を用いて麦を刈倒し・天日乾燥する技術で、収穫後の乾燥経費を削減することが可能(刈り倒した麦はピックアップ装置付きコンバインで収穫) [ 雨天が多く、高水分収穫を行わざるを得ない場合でも短時間乾燥により収穫時の損傷が少なく、品質劣化を防ぐことが可能 ]
省力化技術 チゼルプラウ耕による春播き小麦の初冬播き栽培	耕起を行わず、荒起こしながら根雪前に播種を行う技術で耕起・播種作業の省力化が可能 [ 他作物との春作業の競合が回避できるため、経営規模の拡大が可能です。また、春の生育開始が早まるため、単収の向上や収穫期の前倒しが可能。 ]
省力化技術 カッティングドレーン工法による排水対策	従来の排水改良工法と異なり、暗渠管や疎水材などの資材を用いない技術で、低コストな排水改善対策が可能 [ 本技術は資材費の低コスト化だけでなく、排水効果も従来の工法より高い上、施工時間の短縮が可能です。 ]
多収技術 病害虫抵抗性等を有し、多収な品種の導入	「きたほなみ」の導入により、現在広く普及している「ホクシ」に比べてさらに品質・収量の向上が可能 [ 病害虫抵抗性を有しており、農薬費等の低減も期待されま ]

てん菜	
コスト縮減の取組	内容
省力化技術 直播栽培	種子をほ場に直接播種する栽培体系で、育苗や移植が不要となり、育苗に係る資材費・労働費の削減が可能 [ 3～4月の労働投下時間が大幅に減少し、他作物との作業競合の回避や規模拡大が可能。 ]
省力化技術 共同利用による多畦収穫機の利用	多畦自走式ハーベスタを導入することで、収穫作業の省力化が可能 [ 収穫作業の省略化により、経営規模の拡大が可能。 ]

ばれいしょ	
コスト縮減の取組	内容
省力化技術 ソイルコンディショニング栽培	ほ場準備から収穫に至るまでの一貫した機械化体系による栽培技術で、ばれいしょ栽培全体の省力化が可能 [ ほ場準備 作土に存在する石、れき、土塊などをベッドフォーム、セバレータで予め除去し畦立て ↓ 播種 深植プランターを用いて播種と同時に培土 ↓ 収穫 オフセットハーベスタにより収穫作業及び選別作業の高速化 ]
省力化技術 早期培土	複数回に分けて行う培土を、萌芽前に行う技術で、培土作業の省力化が可能 [ 小粒の全粒種子の利用により、春に行ういも切り作業を軽減させ、また、石、れき等が除去されていることから、打撲による収穫物の損傷を低減させることが可能です。 ]
省力化技術 早期培土	複数回に分けて行う培土を、萌芽前に行う技術で、培土作業の省力化が可能 [ 培土の根の切断や作業機による踏圧及び土塊の発生を低減し、根圏の確保と収穫物の高品質化が可能です。 ]

共通	
コスト縮減の取組	内容
経営診断	普及組織、JA等が経営診断を実施している場合、積極的に受け、経営改善につなげる。
労働時間の管理とピーク時の対応	労働時間を記帳することで、作業別労働時間やピーク等を把握し、作業の効率化を検討する。また、ピーク時には雇用労力または作業委託の活用を検討する。
作物別・品種別作付計画の作成	作物間の作業競合、機械の利用を踏まえた作付計画を作成する。また、機械の作業効率を高めるため、作物や品種毎に団地化を図る。更に異なった品種を組み合わせ、作期の拡大を検討する。
経営規模の拡大	経営規模の拡大を目指す場合には、農地がまとまり、作業効率が上がるよう、農業委員会と十分に調整する。
資材共通 資材購入時の価格比較	複数の販売業者から見積もり等を取り、割引制度も含め価格やサービス等を比較した上で選択する。
肥料費 低価格肥料の選択	輸入高度化成肥料やBB(パルクブレンド)肥料など低価格なものを選択する。
肥料費 単肥の自家配合	高度化成肥料に比べ低価格な単肥を購入し、自ら配合する。
肥料費 バラ・フレコンによる受入	大規模経営や集落営農の場合には、バラやフレコンにより受け入れることで、20kg袋に比べ、低価格で購入する。
肥料費 トラック満車直行等配送条件の確認	大規模経営者や集落営農の場合には、港湾や工場からのトラック満車条件による低価格設定の有無を確認し、活用する。
肥料費 肥効調節型肥料の利用	割高ではあるが、省力化効果が高い肥効調節型肥料を利用する場合には、トータルでのコスト低減効果を確認しつつ、利用する。
肥料費 土壌分析に基づく適正施肥	定期的に土壌診断を行い、ほ場に合った成分構成の肥料の選択や施肥量を調整し、過剰な肥料を削減する。
肥料費 大型包装農薬の選択	大規模経営者や集落営農の場合には、農薬の包装規格を確認し、大型包装品を活用する。
農薬費 低価格農薬の組合せ等による防除	特許切れ農薬等低価格な農薬の組合せによる防除を実施する。
農薬費 病害虫の発生状況に応じた防除	スケジュール防除ではなく、ほ場での病害虫の発生を観察するとともに、発生予察情報を活用した適期・適切な防除を行う。

共通	
コスト縮減の取組	内容
作業規模に応じた馬力・能力の選択	コスト低減の観点から、過剰な馬力・能力のものを選択しないように注意する。
低価格農機(HELP農機)の選択を検討	農業機械の購入の際、HELP農機(従来機より1割程度低価格機)に該当するかどうかを全農のホームページで確認し、選択の目安にする。
低価格農機(JAグループ独自型式等)の選択を検討	農業機械の購入の際、JAグループ独自型式(シンプルな輸出仕様等)や韓国トラクタ(シンプルで約3割安)などの低価格農機の選択を検討する。
中古農機の利用	農業機械の購入の際、初期投資の少ない中古農機も検討する。
経営内容に応じた装備等の選択	農業機械の価格は装備内容等によって大きく異なることから、経営内容に応じて装備等を選択する。
技術の確かな販売店を選択	修理整備を販売店に任せる場合、県の認定を受けた整備施設かどうかを確認して、購入先を選択する。
農機具費 機械整備の自主実施	農家自ら整備技能を身に付け整備を実施し、整備費を低減する。
農機具費 優遇税制の利用	農業者が農業機械を取得・リースした場合、特別償却や税額控除が受けられる中小企業等投資促進税制などの優遇税制を活用する。
農機具費 作業受託の実施	現在、所有する農業機械の馬力や能力に余裕がある場合には、作業受託を検討・実施する。
農機具費 共同購入・共同利用	効率的な大型の農業機械を導入する際、作業規模からみて、1戸では過剰投資となる場合、共同購入、共同利用を実施する。
農機具費 大型農業機械の利用技能の修得	県が実施している機械化研修を受けて、農業機械士の認定を受けるなど、大型機械の効率的・安全に関する利用技能を身につける。
農機具費 定期的な保守点検による長期利用	作業中の突然の故障は経営のダメージが大。そのため、自ら整備技能を修得するか、確かな整備工場での定期的な保守点検を実施する。
農機具費 集落営農組織等における農業機械の効率利用	集落内の農業機械の所有台数を把握し、今後、集落で共同利用するものを選択し、余剰と思われるものは中古農機として販売等整理する。
農機具費 免税軽油の利用	農業者が直接又は共同で県事務所で免税手続きを行い、通常価格より32円/リットル安い免税軽油を利用する。

共通	
コスト縮減の取組	内容
省エネ運転の実施	農林水産省がまとめ、ホームページに掲載している「省エネ利用マニュアル」を参考に農業機械の燃費向上を図る。 (例) ・燃費悪化を防ぐため、エンジンオイルフィルターの交換や季節に合ったオイルを選ぶ。 ・車輪の滑りを防ぐため、タイヤの空気圧を適正にする。 ・乾燥機のバーナーノズルを点検し、点火不良や燃費悪化を防ぐ。 ・作業の負荷に合った適正なエンジン回転で作業する。 ・乾燥機の張込み量をできるだけ満量にし、効率的に乾燥する。
賃借料・料金 共同利用施設の稼働率の確保	共同乾燥施設などの利用料金を引き下げるため、担い手や平日利用の割引制度などにより、稼働率の向上を図る。
賃借料・料金 作業受委託の推進	賃借料と農機具費は裏腹の関係にあり、自ら機械を更新して作業を行うべきか、作業を委託すべきか検討する。
諸材料費 フレコン等による出荷	販売先との相談の上、包装経費の低減につながるフレコン出荷等を検討する。